

伊吹山

山行日：6月14日（土）曇り～晴れ

コース：13日（金）自宅 4:44—横浜町田 IC（東名・新東名・中央道）小牧東 IC—犬山城
10:30—池田温泉—伊吹のさと道の駅 15:55（泊） 14日（土）曇り 伊吹のさと道の
駅—三之宮神社登山口 P6:25…一合目 6:57…五合目 8:10…八合目 9:00…山頂 9:25/48
…避難小屋 10:55/11:21…三合目 11:43/53…三之宮神社 13:00—R365 經由一片
岡温泉—菟野道の駅 17:00（泊） 13日走行 13日走行距離 412km 14日距離 78km

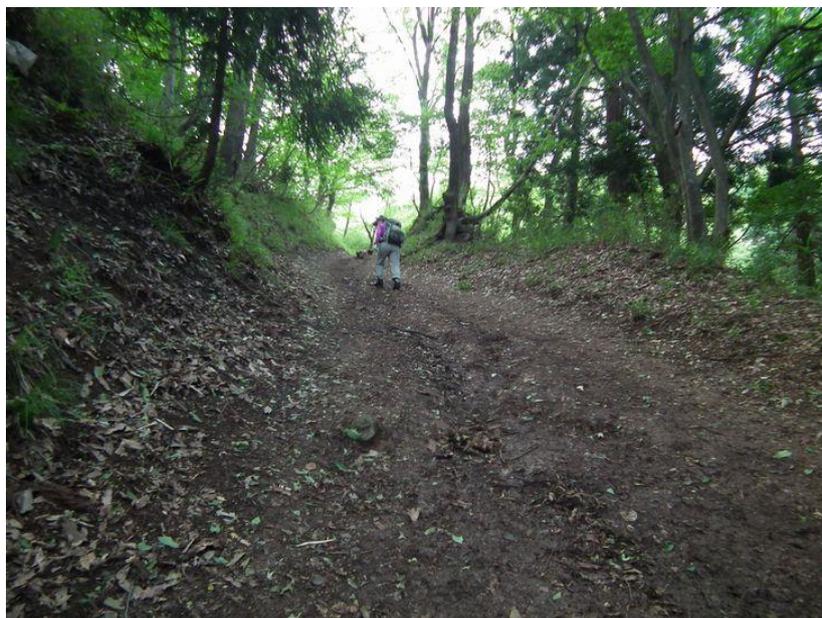


登山口上野にある三之宮神社
安全登山を祈念し手をあわせスタート



登山の始まりまずは階段から…

伊吹山の修行の道は三之宮神社がスタート。山頂が一之宮とされているという。
江戸時代にはかの円空が修行、槍ヶ岳開山で有名な播隆も修行したとか！



鬱蒼とした山道、石灰質の石が良く滑る。



一合目に出ると道はスキー場に行くようになる。登高意欲がそがれる。



コース全体の 1/3 程度はスキー場、その昔は皇族方も来られたとか！



花の伊吹山、今回もその花が目当てだが、7月~8月初めが一番多いと地元の人が言っていた。



アザミ 天ぷらにしたら美味しそう！



アイヤメ



ウツギ



ガクウツギ



コキンバイ



シモツケ



ヤマツツジ



クララ



伊吹山頂

伊吹の神は日本武尊を退け、死に至らしめたと「古事記」に登場するそうです。三合目には遭難の地もある。

忘れ去られたような一等三角点→



←六合目付近にある避難小屋 内部は板敷の綺麗な小屋だった。

山頂小屋も含めてご来光を見るため宿泊する人もいるらしい。



←左:登ってきた山の
斜面、晴れていれば琵琶湖も見えるところ、残念！
左手には鈴鹿山脈西側の霊山も見ることが出来なかった。



山麓の道の駅より見た伊吹山 下山後このような天気になった。
左手石灰岩産出のため山肌が削られている。東海道新幹線や名神高速道から見ると痛々しい姿の山となっている。